

3-(1) 全国ろうあ者体育大会 競技実施要項規定

1. 実施競技種目

実施競技種目は次の通りとする。

期 日	競 技 種 目		備 考	
	競 技	男子の部		女子の部
9月18日 (土)	第56回野球競技	全国9ブロックから選ばれた11チーム及び大会開催地を含めた12チームによるトーナメント戦		
	第44回卓球競技	団体戦	団体戦	・シングル戦は1部と2部のいずれかに出場する。 ・ダブルス戦出場者は団体戦に出場できない。
		1部 シングルス戦	1部 シングルス戦	
		2部 シングルス戦	2部 シングルス戦	
		ダブルス戦	ダブルス戦	
混合ダブルス戦				
9月19日 (日) (2日間)	第42回バレーボール競技	6人制	6人制	
	第41回陸上競技	100m	100m	1人3種目まで出場可 但しリレーを除く
		200m	200m	
		400m	400m	
		800m		
		1,500m	1,500m	
		5,000m	5,000m	
		10,000m		
		4×100mR	4×100mR	・男女とも1部・2部の種目は共通 ・1部は39歳以下 ・2部は40歳以上(但し、1部へ出場可)
		4×400mR		
		110mH		
		走幅跳	走幅跳	
		走高跳	走高跳	
		三段跳		
		砲丸投	砲丸投	
やり投	やり投			
円盤投				
第30回サッカー競技	全国9ブロックから選ばれた11チーム及び大会開催地を含めた12チームによるトーナメント戦			
第29回テニス競技	Aクラスシングルス戦	Aクラスシングルス戦	・AクラスかBクラスのいずれかに出場する。	
	Aクラスダブルス戦	Aクラスダブルス戦		
	Bクラスシングルス戦	Bクラスシングルス戦		
	Bクラスダブルス戦	Bクラスダブルス戦		
第23回ボウリング競技	団体戦	団体戦		
	個人戦	個人戦		
第18回ソフトボール競技	全国9ブロックから選ばれた11チーム及び大会開催地を含めた12チームによるトーナメント戦			
第18回バドミントン競技	1部シングルス戦	1部シングルス戦	・種目は1人2種目まで。	
	1部ダブルス戦	1部ダブルス戦		
	2部シングルス戦	2部シングルス戦		
	2部ダブルス戦	2部ダブルス戦		
	混合ダブルス戦			
第11回バスケットボール競技	5人制	5人制		

2. 表 彰

(1) 表彰は次のとおりとする。

野球競技	※優勝チーム		賞状、持回りの優勝旗・杯、全員に金メダル
	準優勝チーム		賞状、持回りの準優勝杯、全員に銀メダル
	第3位チーム		賞状、全員に銅メダル
	個人賞		最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞
卓球競技	団体戦	※優勝チーム	男女別に賞状、持回りの優勝旗、選手全員に金メダル
		準優勝チーム	男女別に賞状、選手全員に銀メダル
		第3位チーム	男女別に賞状、選手全員に銅メダル
	シングルス戦 (1部・2部別) (男女別)	優勝	男女別(1部・2部別)に賞状、金メダル
		準優勝	男女別(1部・2部別)に賞状、銀メダル
		第3位	男女別(1部・2部別)に賞状、銅メダル
	ダブルス戦 (男女別)	優勝組	男女別に賞状(2人)、金メダル(2人)
		準優勝組	男女別に賞状(2人)、銀メダル(2人)
		第3位組	男女別に賞状(2人)、銅メダル(2人)
	混合ダブルス戦	優勝組	賞状(2人)、金メダル(2人)
		準優勝組	賞状(2人)、銀メダル(2人)
		第3位組	賞状(2人)、銅メダル(2人)
陸上競技	各種目 (男女別) (1部・2部別)	第1位	男女別(1部・2部別)に賞状、金メダル
		第2位	男女別(1部・2部別)に賞状、銀メダル
		第3位	男女別(1部・2部別)に賞状、銅メダル
	リレー (男女別)	第1位	男女別に賞状、金メダル(4人)
		第2位	男女別に賞状、銀メダル(4人)
		第3位	男女別に賞状、銅メダル(4人)
	男女別団体対抗	※優勝チーム	男女別に賞状、持回り優勝旗
		準優勝チーム	男女別に賞状
		第3位チーム	男女別に賞状
	新記録等優秀な記録を出した選手に男女別の最優秀選手賞としてトロフィー又は楯を授与する		
バレーボール 競技	※優勝チーム(男女別)		男女別に賞状、持回りの優勝旗・杯、全員に金メダル
	準優勝チーム(男女別)		男女別に賞状、全員に銀メダル
	第3位チーム(男女別)		男女別に賞状、全員に銅メダル
サッカー 競技	※優勝チーム		賞状、持回りの優勝旗、全員に金メダル
	準優勝チーム		賞状、全員に銀メダル
	第3位チーム		賞状、全員に銅メダル
	個人賞		最優秀選手賞(1人)、優秀選手賞(ベスト4チームから各1名)

テニス 競技	シングルス戦 (A・Bクラス別) (男女別)	優勝	男女別(A・Bクラス別)に賞状、金メダル
		準優勝	男女別(A・Bクラス別)に賞状、銀メダル
		第3位	男女別(A・Bクラス別)に賞状、銅メダル
	ダブルス戦 (A・Bクラス別) (男女別)	優勝組	男女別(A・Bクラス別)に賞状(2人)、金メダル(2人)
		準優勝組	男女別(A・Bクラス別)に賞状(2人)、銀メダル(2人)
		第3位組	男女別(A・Bクラス別)に賞状(2人)、銅メダル(2人)
ボウリング 競技	団体戦 (男女別)	※優勝チーム	男女別に賞状、持回りの優勝旗、全員に金メダル
		準優勝チーム	男女別に賞状、全員に銀メダル
		第3位チーム	男女別に賞状、全員に銅メダル
	個人戦 (男女別)	優勝	男女別に賞状、金メダル
		準優勝	男女別に賞状、銀メダル
		第3位	男女別に賞状、銅メダル
個人戦最高得点者		男女別にHG賞、HS賞	
バドミントン 競技	シングルス戦 (男女別) (1部・2部別)	優勝	男女別(1部・2部別)に賞状、金メダル
		準優勝	男女別(1部・2部別)に賞状、銀メダル
		第3位	男女別(1部・2部別)に賞状、銅メダル
	ダブルス戦 (男女別) (1部・2部別)	優勝組	男女別(1部・2部別)に賞状(2人)、金メダル(2人)
		準優勝組	男女別(1部・2部別)に賞状(2人)、銀メダル(2人)
		第3位組	男女別(1部・2部別)に賞状(2人)、銅メダル(2人)
	混合ダブルス戦	優勝組	賞状(2人)、金メダル(2人)
		準優勝組	賞状(2人)、銀メダル(2人)
		第3位組	賞状(2人)、銅メダル(2人)
ソフトボール 競技	※優勝チーム		賞状、持回りの優勝旗・杯、全員に金メダル
	準優勝チーム		賞状、持回りの準優勝杯、全員に銀メダル
	第3位チーム		賞状、全員に銅メダル
	個人賞		最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞及び敢闘
バスケット ボール競技	団体戦 (男女別)	※優勝チーム	男女別に賞状、持回りの優勝旗、全員に金メダル
		準優勝チーム	男女別に賞状、全員に銀メダル
		第3位	男女別に賞状、全員に銅メダル

(2) ※印の前年度優勝チーム(野球、ソフトボールは準優勝チームにも)に対して、男女別に記念レプリカを授与する。(※野球、卓球、陸上、バレーボール、サッカー、ボウリング、ソフトボール、バスケットボール)

(3) 各競技の出場資格で言う「ブロック」とは、財団法人全日本ろうあ連盟の地域組織(加盟団体)を全国9地区(北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国、四国、九州)に区分した地域を言う。

3. 大会参加資格について

(1) 役員は、連盟の会員であって、定められた大会参加料を納入した者。また、連盟会員でない健聴者の監督・コ

一中等で、大会参加料を納入した者。

(2) 選手は、連盟の会員であって、定められた大会参加料を納入した 16 歳以上の聴覚障害者。

(3) 連盟会員でない聴覚障害者の高校生で、定められた大会参加料を納入した者。加盟団体は参加申込用紙に、その選手の学校名、在学年度を明記しなければならない。

4. 大会参加料について

- (1) 選手・役員等の参加に要する費用は、所属団体又は各自において負担する。
- (2) 卓球・テニス・バドミントン競技で、ダブルス戦出場の場合でも、個人参加料は負担しなければならない。
- (3) 選手以外の者(監督・コーチ・マネージャー・スコアラー等競技にかかわる者)は、選手と同額の個人参加料を納入するものとする。
- (4) 役員は、参加団体役員(体育部長含む)、財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会役員(当委員会技術委員も含む)とし、個人参加料を納めなければならない。
- (5) 一旦納入した参加料は、大会参加申込締切日以降、理由の如何にかかわらず返金しないものとする。

【個人参加料】

種 目	単 位	参加料
野球 卓球 陸上(1人3種目まで) バレーボール サッカー バドミントン ソフトボール バスケットボール	1人	5,000円
テニス	1人	5,500円
ボウリング	1人	8,000円

【ダブルス】

卓球 バドミントン	ダブルス1組 (1人あたり)	2,000円 (1,000円)
テニス	ダブルス1組 (1人あたり)	2,500円 (1,250円)

※ダブルス種目参加料については、「【参考】ダブルス種目のある競技の参加料早見表」をご参照ください。

【団体参加料】

種 目	単 位	参加料
野球 サッカー ソフトボール	1チーム	6,000円
卓球 陸上	1チーム	3,000円
バレーボール バスケットボール	1チーム	4,000円
ボウリング	男子1チーム	16,000円
	女子1チーム	13,000円

【役 員】

		参加料
参加団体役員、財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会役員(当委員会技術委員も含む)	1人	5,000円

【高校生の参加料】別紙(14頁) 高校生参加料一覧表を参照してください。
(専攻科の方は対象外となります。)

〔参考〕ダブルス種目のある競技の参加料早見表

〔説明〕

- ① 第1希望種目はシングルスやダブルスにも関わらず個人参加料とする。
個人参加料は、卓球 5000 円、テニス 5500 円、バドミントン 5000 円です。
- ② 第2希望種目からダブルス戦に出場する場合、追加料金として1組 2000 円(テニスは 2500 円)で、1人 1000 円(テニスは 1250 円)／組となる。
- ③ 各競技で希望種目数により、下記通りの組合せで、一人あたりの参加料を算出する。

1. 卓球競技

- 〔参加条件〕
- ①団体戦出場選手はシングルス戦に参加できるが、ダブルス戦には参加できない。
 - ②団体戦出場選手も個人参加料を納める。
 - ③ダブルス戦(男・女)と混合ダブルス戦は、どちらにも参加できる。
 - ④シングルス戦は、全選手が出場できる。

希望種目数		シングルス	男子ダブルス or 女子ダブルス	混合ダブルス	参加料合計／1人
1種目希望	A選手	5,000			5,000
	B選手		5,000		5,000
	C選手			5,000	5,000
2種目希望	A選手	5,000	1,000		6,000
	B選手		5,000	1,000	6,000
	C選手	5,000		1,000	6,000
3種目希望	A選手	5,000	1,000	1,000	7,000

2. テニス競技

- 〔参加条件〕
- ①選手はAクラスとBクラスのどちらかに出場できますが、両クラス同時出場は出来ません。
 - ②Aクラス、Bクラスも、シングルス・ダブルスの単数、複数出場は出来ます。
 - ③第1日目シングルス、第2日目ダブルスを行います。

1種目希望	A選手	5,500			5,500
	B選手		5,500		5,500
2種目希望	A選手	5,500	1,250		6,750

3. バドミントン競技

- 〔参加条件〕
- ①3種目のうち、2種目までしか出場できない。
 - ②1部と2部にまたがって参加できない。
(例. 1部シングルスと2部ダブルスに出場、と言う出場方法は認められない)

1種目希望	A選手	5,000			5,000
	B選手		5,000		5,000
	C選手			5,000	5,000
2種目希望	A選手	5,000	1,000		6,000
	B選手		5,000	1,000	6,000
	C選手	5,000		1,000	6,000

5. 記録発表

- (1) 競技記録は、大会本部から発表する。
- (2) 陸上競技における大会新記録、日本新記録については、記録証(都道府県陸上競技協会の公印捺印)を発行する。

6. 注意事項

- (1) 大会参加申込締切日以降の出場選手の変更について
事故等による選手、監督、コーチ等の変更は、別紙(様式 I「登録選手変更届」・様式 II「監督・コーチ変更届」・様式 III「メンバー及び投球変更届」)を9月17日(金)10:00 開始の監督主将会議に提出すること。期限を過ぎての提出、また選手の追加は認めない。
 - ①登録選手の変更 → 様式 I「登録選手変更届」により届ける。
 - ②監督・コーチの変更 → 様式 II「監督・コーチ変更届」により届ける。
 - ③ボウリング競技の登録選手及び投球順の変更 → 様式 III「メンバーおよび投球順変更届」により届ける。
- (2) ダブルスのペア編成について(卓球競技、テニス競技、バドミントン競技)
 - ①ダブルスのペアが組めないということは、例えば、1加盟団体に選手一人しかいなく、ダブルスの必要条件を満たせない場合をいう。
 - ②他の加盟団体の者とダブルスペアを組む場合、本人は別紙(様式 IV)「ダブルス組み合わせ同意書」に他の加盟団体の選手の氏名を記入し、6月15日(火)までに所属協会へ提出すること。また提出があった加盟団体(所属協会)は、他の加盟団体の同意を得て、6月30日(水)までに実行委員会に提出すること。FAXによる提出や期限を過ぎての提出は認めない。
- (3) 監督主将会議
 - ①各競技の監督主将会議を次のとおり開催する。
 - 1) 日 時:2010年9月17日(金)午前10時~12時
 - 2) 場 所: あわぎんホール
 - ②本会議への出席資格は、各競技の監督および主将又はその代理人とし、男女各チームでそれぞれ2名以内とする。抽選会のある競技において監督および主将が共に欠席、あるいは遅刻した場合、原則として出場を取り消したものとみなす。やむを得ず代理人が出席する場合は、別紙(様式 V)「委任状」を9月17日(金)10:00 に、監督主将会議へ代理人が提出すること。
- (4) ゼッケン
※ 競技別実施要項を参照。
- (5) 競技会場への入場
 - ①競技会場への入場は、係役員の指示に従うこと。
 - ②競技会場へ入場できる者は、競技役員、補助員等競技運営に関わる者、選手、指定された実行委員及び手話通訳等、の許可を受けた者に限る。
- (6) 開会式について
 - ①今回の大会では、徳島市立体育館にて行ないますので、多くの役員・監督・主将・選手のご参加をお願いします。体育部長は協会旗を必ず持参してください(旗手は9月17日(金)10:00までに徳島市立体育館にお集まりください。)
 - ②監督、主将、選手はユニフォームを着用すること。
 - ③開会式に出席される方は上履きを持参してください。

7. 競技についての諸注意

- (1) 全競技において、不時の負傷又は病気については、応急手当以外は主催者で行わない。
- (2) 競技中の負傷や病気を未然に防ぐために、選手は日頃の健康管理に努め、また、競技前に準備運動を丹念に行うこと。
- (3) 選手は必ず健康保険証を持参し、各種障害保険に加入すること。

- (4) 荒天時における競技実施態勢については、主催者において決定する。
- (5) 競技進行中に起きた競技者の行為又は順位の決定に関して異議ある場合は、その競技者又は代理人から文書又は口頭で、直ちに申し出ることができる。これについては、審判長が判定し、その決定は最終的なものである。
- (6) 各競技規則で競技服装について定められている場合は、その服装で競技すること。
- (7) 各競技会場となる施設の利用にあたっては、上履き・下足の区別等、使用ルールに従うこと。
- (8) 貴重品や身の回りの物は、自己の責任で保管するか、あるいは加盟団体に管理すること。